

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年6月18日現在

機関番号：11302

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2010～2012

課題番号：22330242

研究課題名（和文） 持続発展教育のための小中学校「社会科」の学力に関する研究

研究課題名（英文） Scholastic Ability for Education for Sustainable Development
In Social Studies

研究代表者

松岡 尚敏 (MATSUOKA NAOTOSHI)

宮城教育大学・教育学部・教授

研究者番号：30229439

研究成果の概要（和文）：小中学校「社会科」の学力について、持続発展教育の推進という視点と関連させながら考察を加えるとともに、それらの考察を活かしながら、小学校社会科での授業開発、中学校社会科での授業開発、および資料活用に関する教材の作成を試みた。こうした研究活動を通して、持続可能な社会の形成に主体的に参画していくことのできる市民が有すべき資質や能力の特徴について明らかにした。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this research is to clarify scholastic ability in social studies for education for sustainable development, and to develop various lesson plans. This research project has succeeded in clarifying the character of citizenship for education for sustainable development.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	2,800,000	840,000	3,640,000
2011年度	1,600,000	480,000	2,080,000
2012年度	1,400,000	420,000	1,820,000
年度			
年度			
総計	5,800,000	1,740,000	7,540,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：社会科教育、持続発展教育（ESD）

1. 研究開始当初の背景

持続可能な社会の形成には、そうした社会の形成に主体的に参画していくことのできる資質や能力を有した市民の育成が重要な位置を占めている。近年、日本社会においても、市民参加型社会の創造に向けての胎動が始まりつつあり、よりよい社会の形成者としての市民の育成がますます重要となってきた。

しかしながら、各種の学力調査の結果を見る限り、日本の子どもたちの学力上の特徴として、習得した知識や概念を生活の中で有効

に活用しながら、思考・判断したり、その結果を表現したりする能力の育成に課題がみられる。さらに、それらの能力を使いこなしながら、社会に向けて積極的に働きかけていくとする意欲・姿勢に課題がみられる状況がある。

日本における社会科教育の基本的性格は、社会認識の形成を通して市民的資質を育成する教科であるといわれている。こうした基本的性格を再認識することにより、持続可能なよりよい社会の形成に主体的に参画していくことのできる市民的資質の育成、および

その方略について考察するとともに、それに基づいた教材開発、授業開発を試みようとした。

2. 研究の目的

(1) 持続発展教育の推進のために、よりよい社会の形成に主体的に参画していくことのできる市民に求められる資質や能力に関する先行研究の整理・分析を行うこと。

(2) 上記の資質や能力の育成について、小学校および中学校における社会科教育を通して、教材を開発し授業実践を行うこと。

(3) 小中高校生および大学生を対象として、現実社会での課題を実感的に理解し、それらを探究的に解決していくための教材活用・学習プログラムの開発を試みること。

3. 研究の方法

(1) 持続発展教育推進のための社会科学力観の整理・分析については、国内外の専門家や関係者を招き意見交換を行うためのセミナーなどを開催する。

(2) 小・中学校における教材開発および授業実践については、宮城教育大学教育学部社会科教育講座所属の研究者と宮城教育大学附属小学校・中学校における社会科研究部会所属の実践者とが、プロジェクトチームをつくって共同研究を行う。

(3) 教材活用・学習プログラムの開発を試みるにあたっては、宮城教育大学教育学部社会科教育講座のスタッフだけではなく、地元新聞社（河北新報社）や持続発展教育に取り組んでいる学校（ユネスコスクール）、専門家（国連大学高等研究所）・NPOなどと共同研究組織を作って課題研究に取り組む。

4. 研究成果

(1) 持続発展教育推進のための社会科学力観の整理・分析については、各年度毎にセミナーを開催し、国内外の研究者を講師として招き、講演内容をめぐって活発な意見交換を行った。こうした活動を通して、持続可能な社会の形成に主体的に参画していくことのできる市民が有すべき資質や能力の特徴について、次の3点が重要であることが明らかとなった。①創造性＝未来志向の創造的な資質・能力が求められること。②学際性＝多様な学問分野における知識・概念を関連づけながら習得させていくことが必要であること。③総合性＝認識と実践との統合の視点が不可欠であること。換言すれば、①は主に目標論に関わる視点であり、②は主に内容論、③は主に方法論に関わる視点として捉えることも可能である。

(2) 小・中学校における教材開発および授業実践については、各年度毎に、宮城教育大学の研究者と附属学校の実践者とが共同で

作成した指導計画に基づき、宮城教育大学附属小学校および附属中学校の教室をお借りし、附属学校の教諭による授業実践を行うとともに、それらの授業実践について分析を加えた。附属小学校では、第3学年、第4学年および第6学年のそれぞれの単元において、附属中学校では、地理的分野、歴史的分野および公民的分野のそれぞれの単元において指導計画を作成し、実践を行った（ただし、歴史的分野の授業実践については、東日本大震災の影響で、実際に授業実践を行うことはできなかった）。こうした取り組みを通して、前述した社会科学力観の特徴について、臨病的に検証することができた。

(3) 持続発展教育推進のための教材活用・学習プログラムの開発については、二つのプロジェクト研究を並行しながら継続して実施した。そのひとつは、地元の新聞社（河北新報社）と連携協力しながら、小・中学校における新聞活用（NIE）のための資料づくりに取り組んだ。その成果として、『小中学校・社会科／公民編 NIEアイデアノート 宮城・東北を新聞で学ぼう！』を刊行した。また、大学生向けのNIE活動を行い、そうした取り組みを通して、読み取る力や説明・解釈する力、論述する力などの言語活動の充実にとって、新聞活用の活動が有効であることが明らかとなった。もうひとつのプロジェクト研究は、大学生（特に社会科教育を専攻している学生）を対象とした資料調査に関する授業用のテキストとして、『資料調査法Aテキスト（地理編）』『資料調査法Aテキスト（歴史編）』『資料調査法Bテキスト（公民編）』という3冊の冊子を作成した。今後、「資料調査法」という授業科目の中で実際に使用しながら、改訂していく作業を通して、その有効性と課題について検証していく予定である。ただし、当初予定していたフィールドワークや観察・聞き取り活動といった体験活動の導入に関する取り組みについては、諸般の事情により、本研究では実施できなかった。今後に向けての課題としたい。

(4) 海外における持続発展教育に関して先進的な取り組みを行っている学校・施設等を視察・調査する活動を毎年度、継続して実施した。2010年度は、中華人民共和国（天津市南海大学、长春市東北師範大学等）およびモンゴル国（ウランバートル市新モンゴル高校等）の視察・調査に、5名の研究分担者が参加した。2011年度は、タイ（タイユネスコ国内委員会、バンコク市内の中・高校等）の視察・調査に、3名の研究分担者が参加した。2012年度は、オーストラリア（キャンベラ、シドニー市内の学校およびNGO等）の視察・調査に、3名の研究分担者が参加した。こうした視察・調査を通して、現地での持続発展教育に関する様々な取り組みについて、

直接見たり聞いたりすることを通して、多様な取り組みの実態を実感することができ、またそれらを比較考察することを通して、持続発展教育の類型化に関して新たな知見を得ることができた。

(5) 上記の各プロジェクト研究のそれぞれの概要については、年度毎に『平成 22 年度成果報告書』『平成 23 年度成果報告書』『平成 24 年度成果報告書』の 3 冊の冊子に取りまとめた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 14 件)

- ① 松岡尚敏、佐藤誠希、中学校社会科地理的分野における「身近な地域」の学習—まちづくりの視点からみた社会参加型学習の試み—、宮城教育大学紀要、第 47 巻、査読無、2013、11-25
- ② 吉田剛、ナショナルシティズンシップ育成のためのシンガポール小学校社会科第 3 学年の内容、宮城教育大学国際理解教育センター年報、第 8 号、査読無、2013、59-71
- ③ 小金澤孝昭、東北地方の農業・農村機能の新展開、宮城教育大学情報処理センター研究紀要、第 20 号、査読無、2013、25-33
- ④ 松岡尚敏、渡邊淳一、中学校社会科歴史的分野における「時代の特色学習」試案、宮城教育大学紀要、第 46 巻、査読無、2012、15-29
- ⑤ 吉田剛、中学校社会科における ESD 単元の開発—地理的分野と公民的分野の連携—、宮城教育大学国際理解教育センター年報、第 7 号、査読無、2012、1-12
- ⑥ 小金澤孝昭、Educational approaches for promoting innovation in Japanese ESD/UNESCO schools、宮城教育大学国際理解教育センター年報、第 7 号、査読無、2012、41-52
- ⑦ 吉田剛、後藤拓磨、2010 年度社会科教育学会における ESD 関連の研究動向、宮城教育大学国際理解教育センター年報、第 6 号、査読無、2011、68-74
- ⑧ 小金澤孝昭、Education for Sustainable Development (ESD) at Teachers Universities、宮城教育大学国際理解教育センター年報、第 6 号、査読無、2011、75-91

[学会発表] (計 4 件)

- ① 松岡尚敏、公民的資質と社会参画、日本公民教育学会第 23 回全国研究大会、2012. 6. 23、東北大学 (宮城県)
- ② 吉田剛、シンガポール小学校社会科のシ

ラバス 2012 年版の特徴—3つの市民的資質の育成のために—、全国社会科教育学会第 61 回全国研究大会、2012. 10. 20、岐阜大学 (岐阜県)

- ③ 小金澤孝昭、庄子元、斉藤史子、水産業の復興と産業連関—気仙沼市を事例にして—、東北地理学会秋季学術大会、2012. 10. 13、秋田大学 (秋田県)
- ④ 小金澤孝昭、Education for Disaster and Recovery: the case of Greater Sendai, University of Hawaii at Manoa, 2012. 5. 15, Hawaii (USA)

[図書] (計 1 件)

- ① 宮城教育大学、河北新報社、小中学校・社会科/公民編 N I E アイデアノート 宮城・東北を新聞で学ぼう!、2011、97 頁

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松岡 尚敏 (MATSUOKA NAOTOSHI)
宮城教育大学・教育学部・教授
研究者番号: 30229439

(2) 研究分担者

小金澤 孝昭 (KOGANEZAWA TAKAAKI)
宮城教育大学・教育学部・教授
研究者番号: 70153517
西城 潔 (SAIJO KIYOSHI)
宮城教育大学・教育学部・教授
研究者番号: 00241513
堀田 幸義 (HOTTA YUKIYOSHI)
宮城教育大学・教育学部・准教授
研究者番号: 20436182
箱田 恵子 (HAKODA KEIKO)
宮城教育大学・教育学部・准教授
研究者番号: 50569233
田中 良英 (TANAKA YOSHIHIDE)
宮城教育大学・教育学部・准教授
研究者番号: 20610546
近藤 佳代子 (KONDO KAYOKO)
宮城教育大学・教育学部・教授
研究者番号: 40153712
石田 雅樹 (ISHIDA MASAKI)
宮城教育大学・教育学部・准教授
研究者番号: 10626914
竹内 洋 (TAKEUTI HIROSHI)
宮城教育大学・教育学部・教授
研究者番号: 30188164
菅野 仁 (KANNO HITOSHI)
宮城教育大学・教育学部・教授
研究者番号: 30214729
川崎 惣一 (KAWASAKI SOITI)
宮城教育大学・教育学部・准教授
研究者番号: 30364988

吉田 剛 (YOSHIDA TSUYOSHI)
宮城教育大学・教育学部・准教授
研究者番号：10431610
太田 直道 (OUTA NAOMITI)
宮城教育大学・教育学部・教授
研究者番号：90092999
井柳 美紀 (IYANAGI MIKI)
宮城教育大学・教育学部・准教授
研究者番号：50420055

(3) 研究協力者

高橋 心 (TAKAHASHI SIN)
宮城教育大学附属小学校・教諭
佐藤 拓郎 (SATO TAKURO)
宮城教育大学附属小学校・教諭
菅原 淳 (SUGAWARA ATSUSHI)
宮城教育大学附属小学校・教諭
芳賀 航 (HAGA WATARU)
宮城教育大学附属小学校・教諭
堀内 宣久 (HORIUTI NOBUHISA)
宮城教育大学附属中学校・教諭
鈴木 恭太 (SUZUKI KYOUTA)
宮城教育大学附属中学校・教諭
渡邊 淳一 (WATANABE ZYUNITI)
宮城教育大学附属中学校・教諭
佐藤 誠希 (SATO SEIKI)
宮城教育大学附属中学校・教諭
浦邊 盛勝 (URABE MORIKATSU)
宮城教育大学附属中学校・教諭
守 康幸 (MORI YASUYUKI)
宮城教育大学附属中学校・教諭